

BB 通信

7月 vol.09



×



じめじめとした梅雨も終わり、夏本番という気候になってきました。夏といえば甲子園、全国各地でOB選手も奮闘していますが、堺ビッグボーイズは今年の夏も、岡山遠征、海水浴、アメリカ遠征などなど、野球以外のことにも取り組んでいきます。3年生にとっては中学生生活最後の夏休みになります。勉強・野球・遊び、バランス良く取り組んでください。

「さらに力強く、殻をどんどん破って！」

コーチ 阪長 友仁

7月初めにみなさんにご挨拶した通り、現在アメリカとドミニカ共和国で様々な年代の野球を見ながら勉強させてもらっています。

アメリカでは、20歳前後の選手がプレーしているマイナーリーグ(1A)の試合を、ドミニカでは16~18歳の年代がプレーするドミニカン・サマーリーグ(メジャー球団のアカデミー同士のリーグ戦)、その下のプログラム(アカデミー入りの契約を勝ち取るために練習を行うチーム)同士のリーグ戦、小学生たちの試合など様々な年代の野球を見ながら日々勉強させてもらっています。

どちらが良い・悪いではないと思いますが、とにかく印象的なのは、①どの年代も投手はどんどんストライクゾーンにストレートを投げ込んでいること、②体の小さい子でも思いっきりフルスイングしていること、③結果に対して大人がやいやい言っていないことかなと思います。

堺BBでも、日本の良いところ、海外の野球から学ぶべきところを取り入れながら、子供たちがのびのびと能力を伸ばせる環境づくりを心掛けていますが、こちらにきて改めて感じることは・・・、もっともっと殻を破って、力強く(時にハチャメチャに?)取り組んでいってもいいなということです。野球だけでなく、社会でも、日本の中でさえ良ければ良いという時代ではなくなっています。今の子供たちが大人になる頃にはますます状況は変わっているでしょう。だからこそ日本のスタンダードにとらわれることなく(もちろん大切なところ、良いところは継続しながら)海外の子供たちにも負けない力強さ・たくましさを身につけてほしいなと思います。

そのために、一人一人ができることは何か。考えて行動(時に我慢!)していくことが大事ですね。それではみなさん、Nos vemos pronto! (近いうちにまたお会いしましょう!)



「可能性を広げてあげましょう！」

コーチ 久富 恵介

「〇〇二世、怪物、スーパー1年生」夏の甲子園大会が近づくにつれ、スポーツ新聞、TVでよく耳にする言葉です。選手達の一つのことに没頭し、夢を叶えるために努力を続けること良いことですが、頑張りすぎてはよくありません。ましてや、指導者や大人が未来ある選手に鞭を打って肉体的にも精神的も追い込むことは本末転倒です。選手達がベストなコンディションで野球ができる環境を整えることが大人の役割です。

小・中・高校生、夏は各カテゴリーで全国大会が開催されます。その中でもアマチュア野球で一番大きな大会は甲子園大会ですが、ここに出場している選手達の多くは怪我を押し、怪我を隠して出場しています。

私自身も当然のように甲子園を目標として野球に取り組んでいました。当時、チームメイトの中には、試合前に座薬を打つ選手、痛み止めの注射を打つ選手、テーピングを巻く選手、ごくごく当たり前の光景でした。肉体的も精神的も追い込まれていた選手の多くは高校で野球を断念します。いわゆる「燃え尽き症候群」です。好きで始めたはずの野球がいつか苦痛に変わっていました。

勝ちたい、優勝したい、このことを選手に押し付けてはいけません。才能ある選手に無理をさせ、怪我をさせ、野球ができない体にした指導者・大人は絶対に責任を取れません。選手が頑張り過ぎている時はブレーキを踏んであげる、好きで始めた野球をもっともっと好きになるようにサポートをすることが指導者・大人の役割です。また、多感な幼少期の思い出が野球だけでは寂しいですね。夏は海・山川、家族で過ごす時間を大切に、幼少期にしかできないこともたくさんあります。ビッグボーイズの選手には野球以外のこともたくさん経験・体験してユーモア溢れる人になってほしいと思っています。

夏休み、野球も遊びも楽しみましょう。

「それって本当に常識!？」

コーチ 岩井健一

「昔の常識が、非常識になる」

そんなことが、歴史の中では繰り返されています。「お国のために命を捧げる」ことが常識であったのが、「命より大切なものはない」と今は学校で教えられていたりします。どちらが正しいのかというのは人それぞれですが、「今の常識」はあくまでも、「今」の常識であるということはいえそうです。

同じことが今も起きてるような気がします。今までは、勉強をして、いい学校に入って、いい会社に入れば安定した生活ができると言われてきました。しかし、ふと周りを見渡せば、安全保障、国の借金、少子高齢化など、答えのない問題が溢れ、社会の枠組みが大きく変わろうとしています。どうやら、受験勉強のような「用意された答えを早く正確に答える」ことよりも、「答えのない問題を自分で考え、行動していく」ことの方が大切な時代になってきたようです。例えるなら、教室でいじめが起こっていても、それを無視して黙々と勉強を続ける人が通用する時代から、クラスがもっと楽しくなるようになるにはどうすればいいのかを考えて、行動を起こしていく人が通用する時代になってきている気がします。「みんな常識って言っているけど、本当にそうなのかな?」そんな目線を持ち、行動していくことで、もっと人生が豊かになっていくと思います。

この夏休みはいろんな体験をして、自分の常識を広げていってみたいはどうでしょうか?

2015年4月 堺BB小学部設立

小・中一貫指導開始

子供達の可能性を最大限引き出す!

堺ビッグボーイズから世界に羽ばく人材を輩出します!

皆様、広報にご協力下さい。

詳しくは、お気軽に久富コーチまで!!

BB塾

無料体験実施中!

個別指導: 10,000円/月~

場所: プロスペクト株式会社 3F

お問い合わせ: TEL 070-1218-8753

お気軽に岩井までお声掛けください!

